

海外スポーツビジネス研修 (スペイン)



B a r c e l o n a

SPAIN



スケジュール

※本学初のヨーロッパスポーツ研修！！

日程	内容
3月4日（月）	エミレーツ航空EK317便関西国際空港23：45発（ドバイでEK185に乗換）
3月5日（火）	エミレーツ航空EK185便バルセロナ13時25分着 PM:オリエンテーション後、ホテル周辺散策
3月6日（水）	AM：リーダーシップ講座 PM：クラブ訪問・講義①（サンイル）
3月7日（木）	AM：クラブ訪問・講座②（コルネジャ） PM：チームミーティング
3月8日（金）	AM・PM：フィールドワーク（街頭調査） 夜：FCバルセロナ試合観戦
3月9日（土）	AM:FCバルセロナミュージアムツアー PM:市内フィールドトリップ
3月10日（日）	終日：市内フィールドトリップ
3月11日（月）	エミレーツ航空EK256便バルセロナ15時30分発
3月12日（火）	（ドバイ乗換）EK316便関西空港17：15着 解散

クラブ訪問（サンイルデフォンス）



サンイルデフォンスは3つのクラブが合併し、30年の歴史のあるクラブ
クラブの運営方法や今の現状、目標について話を聞いた

運営：細かく多くの部門に分けている

現状：精神面のトレーニングなどを行っている

目標：人間的な成長を優先しているチーム



クラブ訪問（コルネジャ）

コルネジャは3部に在籍しており、

カタルーニャで一番選手をかかえているクラブ

クラブの運営方法や今の現状、目標について話を聞いた

運営：SNSでの宣伝

現状：国際プロジェクトを行っている

目標：選手をプロフェッショナルな選手にすること



リーダーシップ講義

(バルセロナMBA、ヨハンクライフ大学修了) による、リーダーシップ講座を開催。

「Is the best player always the leader ?」

「最高の選手は常に良いリーダーなのか」というテーマで話し合った

Gazpacho theoryについて学び、
理想のリーダー像を考えた



FCバルセロナ試合観戦&ミュージアムツアー

試合観戦：VS マジョルカ

(オリンピックスタジアム)

ツアー：FCバルセロナの歴史や現在を体感



バルセロナフィールドトリップ

バルセロナにある世界遺産や食文化を体験

サグラダファミリア



パエリア

サンタ・エウラリア大聖堂



カサ・ミラ



カサ・バトリヨ

街頭調査

目的：クラブの課題を解決する施策を立案する

ノルマ：各グループ50人以上 計150人

（街頭調査を通じて）

苦勞した点：相手に言葉を伝える

成長した点：断られてもくじけないメンタル



仮説の設定

リサーチ

集計と分析

仮説の検証

報告

街頭調査（各50名、計150名にアンケートを取りました）

テーマ	バルセロナのサッカーファンの観客層、試合時のサービス等について	現地の人が抱く街クラブの理想像	地域にどれくらいサッカーが根付いているか
仮説	①スペインはサッカー大国とされているため全体の 7.8割 の人がスタジアムに足を運び、サッカー観戦を行っているはず。 ②試合時のサービスに対して必ず、不満があるはず。	①「選手はチームの状況に満足している」 ②「選手はサッカーチームに技術向上を求めている」	約8割が地域にサッカーが根付いていると感じている
結果	サッカー観戦を行っている割合が 6割 ほど 最近の 20代以下 の人はスタジアムで観戦を行わず、テレビや配信サイトで試合を観戦	トレーニング時間・頻度・コーチの質についての満足度高い。 技術向上ではなく、楽しさを求めている人の割合が多いことが分かった。	8割が地域にクラブが必要と回答。 学校や公園などの施設：サッカーをしていた姿を見るのがほとんどで日常的に行う機会や環境ができてい るサッカーグッズ店舗がスタジアム周辺以外でも多く見られる
提案	限定の入場特典などスタジアム観戦を行う価値を増やす。スタジアム内にゴミを設置し快適環境に改善すると満足度があがるのではないかと。	現状に満足している人が多いが、施設設備の改善や練習内容の見直しをすることで今よりもさらに選手が抱き理想のクラブ像に近づくのではないかと。	若い世代はサッカー観戦はするもののクラブに所属したりファンクラブに入る割合は少ない。年齢による料金設定などの工夫があれば良い

最後に一言ずつ感想



謝辞

円安、物価高騰のなか、研修費用を聞いて参加に悩んでいましたが、奥田政三教育研究基金奨学金、大学海外留学研修奨学金の支給のお陰で、参加を決心しました。ご支援、ありがとうございました。

グラシアス (Gracias)

